

社会科学学習指導案

令和2年10月29日(木) 5校時
第5学年1組児童数20名
授業者 大野 博貴

単元名 わたしたちの生活と食料生産「これからの食料生産とわたしたち」

～西っ子調査団!「食品ロス」はなぜ増える?～

本単元で育成する資質・能力 主体性 コミュニケーション能力 メタ認知

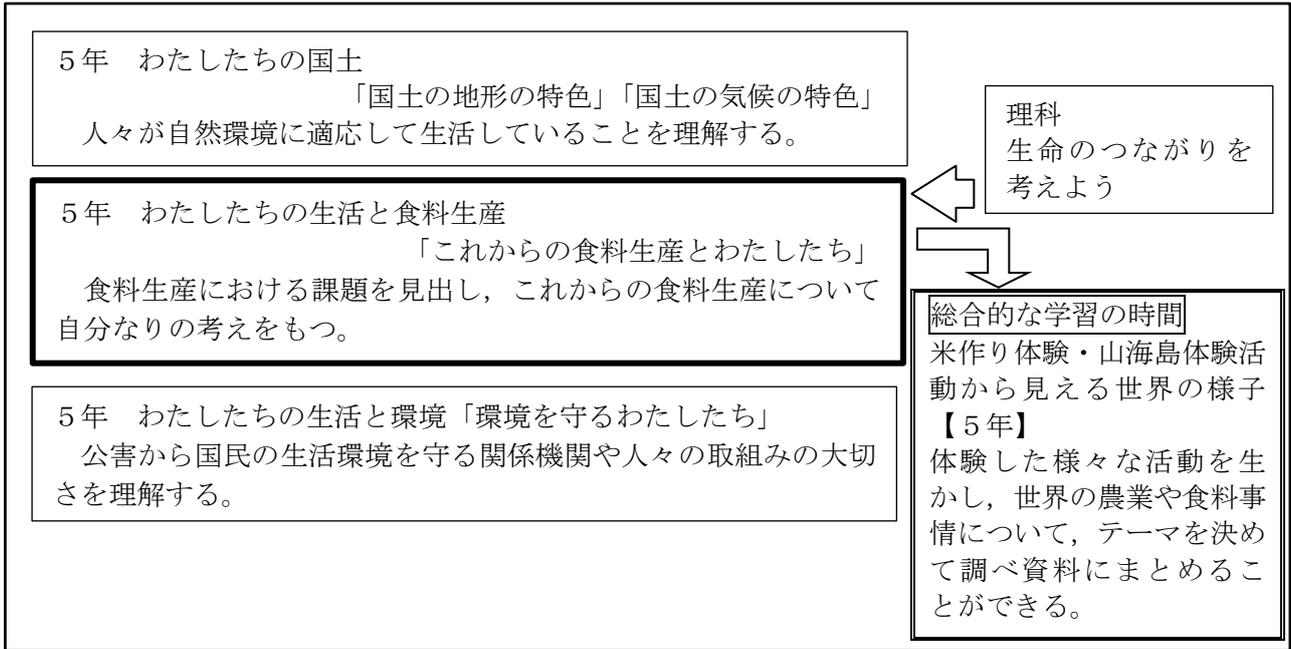
1 単元について

| | |
|---|---|
| <p>【単元観】 本単元は、小学校学習指導要領の社会科第5学年の内容(2)ア(ア)「我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること」、イ(イ)「生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること」を受けて設定したものである。 食料生産に関する学習は四つの小単元で構成され、本小単元はその最後に位置づく。本単元では、消費者や生産者の立場などから多角的に考え、これからの食料生産などの発展について、自分の考えをまとめさせることを通して、児童の社会へのかかわり方を選択・判断する力を育てていきたい。</p> | <p>【児童観】 資料から数値や事象を読み取ることができる児童は多いが、複数の資料を比較したり関連付けたりしながら読み取ることが苦手であり、学習に深まりがあまりみられない。 しかし、自分たちの生活に関わる学習内容に関しては意欲的に取り組むことができる児童が多いので、日常生活と学習内容との関連を意識しながら指導を進めていきたい。</p> |
| <p>【指導観】 本小単元では、日本の食料自給率の低さ、輸入依存度の高さを捉え、それに伴う今日的な課題について考えさせていく。同時に、輸入食材のおかげで、自分たちの豊かな食生活が成り立っていることも捉えさせ、必ずしも食料を輸入することが悪いことであると決めつけることがないように留意したい。輸入そのものが問題なのではなく、食の安全性が不透明な場合や国内生産とのバランスが損なわれてしまう場合などに問題があるという認識をもたせるようにしていきたい。 また、本小単元は、これまでの食料生産の学習のまとめとして位置づけられる。食料の安定確保、食料の輸入増加という問題は、国内の生産者の姿を抜きにしては考えられない。実際に、米作りや水産業の学習においても、外国産米との競争や水産物の輸入の増加についても触れている。これまでの学習と結び付けることで、これらの問題をより具体的に、多面的に考えさせていきたい。 さらに、児童にとってより身近な問題である給食の残飯や、総合的な学習の時間に行っている米作り、世界的な食糧難などのグラフや新聞記事といった資料を効果的に提示し、自分事として考えなければならぬ課題であると実感させていきたい。見出した課題に対して自分ができることは何かと、自分事として考えをもつことができるようにしたい。</p> | |

2 単元の評価規準

| | | |
|---|---|--|
| 【資質・能力】主体性 | | |
| ・食品ロスが増加する原因を、食料自給率の低下や輸入の増加などの課題と関係づけて捉え、これからの食料生産について自分事として考えようとしている。 | | |
| 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・資料等を正しく読み取り、食料生産の課題を理解している。 【知識及び技能(ア)】 | ・食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取り組みなどについて着目し、問いを見出し、食料生産の課題について考え表現している。 【思考力、判断力、表現力等(ア)】 ・食料自給率と食生活の変化を関連付けたり、食料生産について学習してきたことを総合したりして食料生産の課題について多角的に考え、これからの食料生産について考え表現している。 【思考力、判断力、表現力(イ)】 | ・これからの食料生産について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして学習問題を追及し、解決しようとしている。 ・学習したことをもとに、これからの食料生産について考えようとしている。 |

3 単元関係図



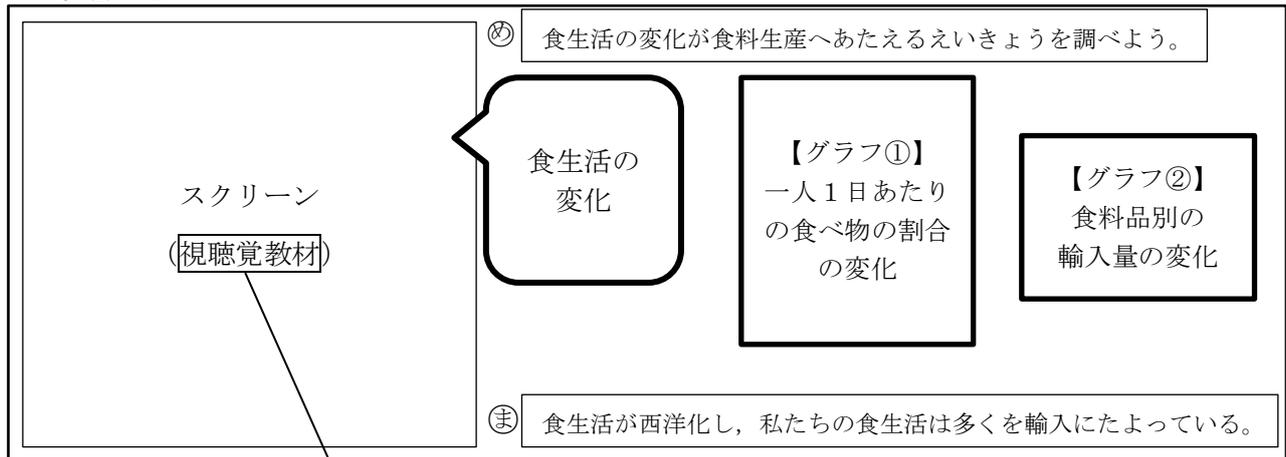
4 指導と評価の計画（全7時間）

| 次 | 学習内容（時数） | 評 価 | | | |
|---|---|-----|-------|-------|--|
| | | 知・技 | 思・判・表 | 主体的態度 | 評価規準（評価方法） |
| 一 | <ul style="list-style-type: none"> ○食品ロスが世界的な問題であることをつかみ、日常生活における食品ロスを調べる。 ○食料自給率のグラフや表等に注目し、食品ロスの増加との関係について問いを見出す。 ○単元計画を立てる。（1） | | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスが起こる原因は何か考えることを通して、学習の見通しをもって食料生産における課題を見出そうとしている。（ノート，行動観察） |
| 二 | <ul style="list-style-type: none"> ○身近な食べ物の自給率をグラフから調べたり，輸入が増えた理由を資料から読み取ったりし，課題を整理する（1） ○食料の輸入が増えることでどのような影響がもたらされるのか，資料から調べ，課題を整理する。（1）【本時】 | ○ | | | <ul style="list-style-type: none"> ・グラフを正しく読み取り，食料生産の課題を理解している。（ノート，行動観察） ・食料自給率や輸入など外国との関わり，食の安全・安心への取り組みなどについて着目し，問いを見出し，食料生産の課題について考え表現している。（ノート，行動観察） |
| 三 | <ul style="list-style-type: none"> ○世界の食料不足の現状，将来の食料供給，食料の安全性などの視点から，これからの食生活のあり方や食料生産について，自分なりの考えをもつ。（1） ○これまでの学習を振り返り，自分たちの今後の食生活についての考えを根拠となる事実とともに新聞にまとめる。（2） ○友達と内容の交流をし合い，感じたことや考えたことをノートにまとめる。 ○単元の学習を振り返る。（1） | | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・食料自給率と食生活の変化を関連付けたり，食料生産について学習してきたことを総合したりして食料生産の課題について多角的に考え，これからの食料生産について考え表現している。（ノート，新聞） ・これからの食料生産について，予想や学習計画を立てたり，学習を振り返ったりして学習問題を追及し，解決しようとしている。（ノート，行動観察） |

5 本時の展開

| 学習活動 | 指導上の留意事項 | 評価規準（評価方法） |
|--|---|--|
| <p>本時の目標 食料自給率と食生活の変化を関連付けて調べ、自分たちの豊かな食生活が大幅な輸入で支えられている一方で自給率が下がっていたり、食料が廃棄されていたりするという課題を見出し、整理することができる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今と昔の食生活の写真を提示し、どのような変化があるか読み取らせる。 ・視聴覚教材を活用し、食料を輸入することで自分たちの食生活が豊かになっていることに気付かせる。 | |
| <p>1 課題意識をもつ。 ○めあてにつながる資料を確認する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。 ○めあてを設定する。</p> <p>3 食生活の変化と輸入量について調べる。 ○資料を読み取る。</p> <p>○読み取ったことを関連付けて考え、課題を見出す。</p> <p>○意見の交流をする。</p> | <div data-bbox="496 577 1430 667" style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 食生活の変化について調べ、食料生産へあたえる影響をまとめることができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材を活用し、食料を輸入に頼っている現状に問題点があることにも着目させる。 ・輸入食品量が増えている時期や増えている品目に注目させる。 ・1日の食べ物の割合の変化については、特に米、畜産物、油脂類、小麦の数値に着目させる。 ・読み取ったことを基に、2つ以上の資料を関連付けて考え課題を見付けさせる。 <div data-bbox="496 1115 1075 1518" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈予想される児童の発言〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日の食べ物の割合の変化をみると、畜産物が増えているね。けれど米は大きく減っているね。 ・輸入に頼りっぱなしでいいのだろうか。 ・食料品の輸入が増えたことで、食料自給率が低下しているね。 ・食生活が和風から洋風に変化しているのかなあ。 ・輸入した食品はすべて消費されている？ <p>〈児童の状況に応じた指導〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報に気付かせるための助言をする。 ・提示する資料を関連付けて考えられるよう、例を示す。 ・特に変化の大きい食品に着目し、考えるよう声をかける。 </div> <div data-bbox="1094 1525 1430 1805" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業や水産業等に従事する人の高齢化、減少 ・輸入が停止したときに食料不足が起こる。 ・輸入に頼ることが環境問題につながる。 ・食品ロスの増加 </div> | <p>【思】食料自給率と食生活の変化を関連付けて調べ、課題を見出し、整理することができる。（ノート、行動観察）</p> <p>A：資料を関連付けて課題を見出し、立場を明確にして多角的に課題を整理することができる。</p> <p>B：資料を関連付けて課題を見出し、消費者または生産者の立場で課題を整理することができる。</p> |
| <p>4 本時のまとめを行う。</p> | <div data-bbox="496 1805 1430 1872" style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ 食生活が西洋化し、私たちの食生活は多くを輸入に頼っている。</p> </div> | |
| <p>5 本時を振り返り、次時につなげる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・食料不足を補うために多くの輸入をしているのかを問い、多くの輸入をしている一方で、多くの食品を廃棄していることへの疑問をもたせ次時につなげる。 | |

6 板書計画



- ・食生活の変化
- ・NHK for school 「輸入が支える豊かな食生活」
「食料を輸入に頼ることの問題」
- ・食品ロスに関する資料